令和２年５月２９日

各高等学校剣道部関係者　各位

大分県高体連剣道専門部

専門部長　中野　弘幸

専門委員長　堀　秀一郎

６月１日からの部活動について（県総体の安全な実施に向けてのお願い）

コロナウイルスの感染拡大により高校生の部活動発表の場が次々に無くなる中、大分県では各競技で日時を分散して、「令和２年度大分県高等学校総合体育大会」が実施されることになりました。これは、医療従事者をはじめ私達の生活を支える職種の方々、また歯を食いしばって自粛に協力された皆様方の思いと行動の結果だと考えています。ありがとうございます。

　しかし、せっかく開催される県総体が中止になったり、県総体でクラスターを発生させたり、部員や関係職員の健康が脅かされることがあってはなりません。安全に大会を実施し、高校生にとって最高の思い出にするためには、参加する皆様のご協力が必要です。

　以下の内容を確認して、県総体に向けた万全の準備をお願いします。

1. 全剣連の５月１９日付「対人稽古自粛継続のお願い」、５月２５日付の「稽古再開の今後の予定」にある通り、稽古再開のガイドラインが提示されるまで、感染防止を徹底した活動に取り組むこと。

②大分県教育委員会から５月２６日付で出された「運動部活動再開に当たっての留意事項《フェーズ１》」・「部活動通常活動に向けてのロードマップ」を守って活動すること。

③県総体にかかわる方（選手・監督・外部指導者）は、感染者や濃厚接触者となり大会に参加できないなどの事象が起きないように、「３密を避ける」「手洗い・消毒の励行」「不要不急の外出を避ける」などの感染対策を徹底すること。

④熱中症対策を含めた体力の回復を徹底すること。飛沫感染を防ぐための用具の着用など、これまでよりも肺活量が必要になる可能性もあります。まずは、確実に体力の回復と強化を徹底すること。

⑤部顧問や選手は、「新型コロナウイルス」についてよく学び、部活動の時だけでなく日常でも感染防止対策が徹底できるようにすること。

⑥部顧問は、部員の健康観察（練習場所・用具・使用するトイレのドアなどのこまめな消毒や、登校前・稽古前の検温など）と部員の生活管理（毎日の自分の行動履歴の記録など）を徹底すること。

⑦部顧問自身が、率先して感染防止の生活様式を徹底し、全剣連や県教委の示す感染防止対策を網羅した稽古を各学校で工夫して実践すること。

以上のことを、遵守し部活動に取り組むことをお願いします。

※大会の観戦については、今後の大分県の感染状況を考慮し、県教育委員会の指導の下に検討して参ります。まずは、県総体が開催されることに感謝し、大会の安全な実施に向けて各学校で充実した活動が行われることを願っています。

※実施要項はまだできていませんが、でき上がり次第連絡（剣道専門部ＨＰ）いたします。

※各学校で、飛沫感染防止の用具やマスク、消毒液等の準備をお願いします。